協会

令和元年7月29日発行

ズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

活動し、一人ひとりの行動が 世代に、子どもたちに、青い を目指した取り組み。「次の 枠をこえた全国での一斉活動 対策」を目的に、産学官民の 海に流出し続ける「海洋ごみ 青色のアイテムを身に着けて 海を」を合言葉に、参加者は

らポリ袋が見つかるなど、生 ぐっては、死んだ魚の体内か 海洋プラスチックごみをめ

刻な問題となっている。 膨系に悪影響を及ぼしている ことが分かり、世界規模の深 海ごみゼロウィーク」は、

「海洋ごみ」対策効果も

袋で65・5袋、計114件の

その結果、35以のビニール

期間中、幼稚園児から88歳ま 間中は、6日間に拡大した。

での延べ58人が参加した。

をしているが、同ウィーク期

浮遊ごみを回収した。内訳は ットボトルが7%、と「海洋 ットボトルが16%、重量でも ノラスチックごみが40%、ペ ノラスチックごみが45%、ペ プラスチックごみ」となり

カヌーで浮遊ごみなどの清掃 水曜、土曜、日曜の週3日間、 の取り組みに賛同し、普段は 「草加パドラーズ」は、こ

を改めて感じていた。

カヌーという独特の手段を

ごみゼロウィーク」に参加

一方で歯がゆい思いも。「海

体。しかし、草加市ではパド た県内の団体は約150団

フーズだけ。「市内の環境団

見かけるようになった。釣り

八も増えた」と活動の手応え

い。生物が育てば川はきれい して自然浄化作用も促した

になる」と力を込める。

ごみが減り、魚やカニなどを

地道な活動5年、「草加パドラーズ」



思いも抱えながら、パドラー がない。もっと地元を愛して らに、「県の管轄という面もあ スのメンバーは今日もパドル はしい」と訴える。こうした という言葉が一回も出たこと るが、市側からは一緒に拾う これいになると思うが」。 権)を手にする。 一斉に活動すればもっと

スチックごみ』を取り上げた、大阪のG20サミットに先立つ活動だが、 参加し、海に流れつくプラスチックごみなどを回収した。『海洋プラ きる

と、運動の輪が広がらない歯がゆさをかみしめている。

「もっと多くの環境団体が参加し、行政が積極的になってくれれば」

パドラーズ」の木村高明代表(61)。5月30日から、日本財団や環境 カヌーによる清掃活動に取り組む、草加市のカヌー愛好団体「草加

|本当の意味での綾瀬川再生を目指す」と、5年前から綾瀬川で

省が実施した「海ごみゼロウィーク」の活動に同市内の環境団体で唯

のごみ拾いで、臭いにおいや 木村さん(61)は「今まで 東産のシジミを購入し、 が、新たな試みとして、

た成果は着実に上がっている 関

綾瀬川の清掃活動 「草加パドラーズ」 バー(左)、カヌー って河川ごみを拾う すメを使

東武よみうり新聞 2019 (令和元年) 7月23日掲載 大阪 G20 サミット・環境省「海ごみゼロ運動」

ボーイスカウト草加8団

草加と長瀞、カヌー体験

7月28日(日)、定例活動に11名が参加し、2袋分の成果でした。文化会館松原大橋脇へ上陸し小休止をして船着場へ戻りました。その後、10:00からボーイスカウト草加第8団菅井団長と4名の団員たちが綾瀬川でカヌー体験をしました。8月に長瀞でボーイスカウトの大会があり、その事前訓練を菅

井氏から依頼を受け、快く応じたものです。草加第8団は、一昨年ここでカ ヌー体験をしてくれ、再度の体験会になりました。

ライフジャケット着用してから準備 運動、諸注意、パドリングを学んで、 いよいよ本番。始めは二人乗り艇で練 習し、自分一人で漕げる自信を付けて から一人艇に挑戦しました。11:30 に



は全員上陸し 反省会をしま した。とても 良い経験が出 来ました。長 瀞では、今日 の成果を活か したい・・と 述べてくれま した。長瀞の 大会、頑張っ てください。 綾瀬川左岸船 着場が、名実 ともにカヌー のメッカにな ってきたよう に感じます。